

図書館だより



はつかいち市民大野図書館
No.48 2015年11月号
〒739-0478
廿日市市大野1328番地
TEL (0829) 54-1120
<http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

「としょかんスタンプカード」実施中

図書館で本を借りてスタンプをあつめましょう！

スタンプ5つで雑誌の付録をプレゼントします。

実施期間：2015年11月1日（日）～12月28日（月）

※大野・さいき図書館は月曜休館のため、12月27日（日）まで

（プレゼントがなくなり次第終了します）

図書館カウンターでスタンプカードを発行中です。廿日市市内の図書館で資料を借りると、貸出1回につき1個スタンプが貯まります。期間中にスタンプを5個集めたら、雑誌の付録をプレゼント！ この機会にぜひ図書館へ足を運んでみてください。

図書館員おすすめの1冊

『ニュートリノの夢』 小柴 昌俊 著（岩波ジュニア新書 2010年）

「これからの夢は、教え子がノーベル賞をもらうことだ」。2002年、ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊博士の言葉です。

今年10月、その夢は実現しました。教え子の梶田隆章博士がニュートリノに質量があることを実証し、師の後に続いたのです。

大正生まれの小柴さんは、小児麻痺の後遺症で仕事や兵役に就けず、三浪して東大へ。そこでは学費稼ぎのバイトに明け暮れ、成績はビリに近い…。

そんな彼が、負けん気とバイタリティで世界初のニュートリノ観測に成功するまでの道のりは、研究者というより剛腕経営者。ピンチの時にいつも周りの人に助けられるのは、愛嬌のある飾らない人柄によるものでしょう。朝永振一郎博士や幅広い分野の著名人との親交も描かれています。

ニュートリノ研究は、愛弟子、戸塚洋二さん、梶田隆章さんに引き継がれ、梶田さんは今、「KAGRA」計画で宇宙からの重力波をとらえようとしています。

小柴さんの夢は、果てしなく続いているのです。

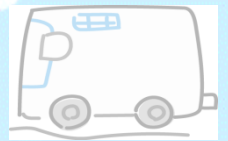
ノーベル賞確定と言われ、2008年に志半ばで亡くなった戸塚洋二さんの著書を紹介します。

『がんと闘った科学者の記録』（文芸春秋 2009年） 科学者が自らの病と向き合う姿に心打たれます。

移動図書館車たんぽぽ号 巡回カレンダー



移動図書館車「たんぽぽ号」は、月1～2回、各コースを巡回します。
図書館の利用カードで貸出ができます。（予約した本の受取も可能です）



11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 たんぽぽ いもせ	5 たんぽぽ 阿品台東	6 たんぽぽ おおの	7
8	9 休館	10	11 たんぽぽ 梅原	12 たんぽぽ 阿品台西	13 たんぽぽ 吉和	14
15	16 休館	17	18 たんぽぽ 鳴川	19	20 たんぽぽ おおの	21 読書会
22	23	24 休館	25	26 館内 整理日	27 たんぽぽ 原	28 おはなし かい
29	30 休館					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 たんぽぽ いもせ	3 たんぽぽ 阿品台東	4 たんぽぽ おおの	5
6	7 休館	8	9 たんぽぽ 梅原	10 たんぽぽ 阿品台西	11 たんぽぽ 吉和	12
13	14 休館	15	16 たんぽぽ 鳴川	17	18 たんぽぽ おおの	19 読書会 おはなし かい
20	21 休館	22	23 たんぽぽ 深江	24	25 たんぽぽ 原	26
27	28 休館	29 休館	30 休館	31 休館		

おおのコース(第1・3金曜日)

11月6日・20日 / 12月4日・18日

- ① 8区集会所 10:10～10:25
- ② 八坂一丁目 10:35～10:50
- ③ 鳴川（八坂神社下） 11:00～11:15
- ④ 梅原市営住宅 11:25～11:40
- ⑤ 対蔵山集会所 13:10～13:25
- ⑥ 対蔵山一丁目 13:30～13:45
- ⑦ 青葉台集会所 13:50～14:05
- ⑧ 柿の浦集会所 14:10～14:25
- ⑨ 宮島口上一丁目 14:30～14:50
- ⑩ 1区集会所 15:00～15:15
- ⑪ 2区集会所 15:25～15:40

吉和コース(第2金曜日)

11月13日 / 12月11日

- ① 友和保育園 10:00～10:30
- ② 吉和保育園 11:00～11:20
- ③ 吉和市民センター 11:25～11:55
- ④ 吉和学園 13:00～13:25

原コース(第4金曜日)

11月27日 / 12月25日

- ① 原保育園 10:00～10:50
- ② ふれあいライフ原 11:00～11:30
- ③ 原市民センター 11:35～12:55
- ④ 原小学校 13:00～13:30
- ⑤ 宮園市民センター 13:45～14:15
- ⑥ 宮園保育園 14:20～15:00

保育園コース (各巡回コースの水曜日・木曜日)

10:30～11:30

- ① いもせ保育園 (第1水曜日)
- ② 梅原保育園 (第2水曜日)
- ③ 鳴川保育園 (第3水曜日)
- ④ 深江保育園 (第4水曜日)
- ⑤ 阿品台東保育園(第1木曜日)
- ⑥ 阿品台西保育園(第2木曜日)

★図書館員おすすめ★

こどものほん

《今回のテーマ:はたらく乗り物》

乗り物の本はいつの時代も子どもたちに大人気。勤労感謝の日になんで働き者の乗り物の本を紹介します。

● 『ちいさなタグはおおいそがし』

(スティーブン・サヴェッジ/さく さくまゆみこ/やく 講談社 E/サ)

タグボートのタグは仲間の船をひっぱったり案内したり、いろんな役割をはたします。でもそんなタグが疲れた時は、みんなが優しくしてくれるのです。ユーモラスな表情が子どもたちの共感を呼びます。

● 『すすめ! きゅうじょたい』

(竹下文子/文 鈴木まもる/絵 金の星社 E/タ)
小さな6人の救助隊がクレーン車やヘリコプターなどを使い、谷間に落ちた羊を助けたり大活躍! 子どもたちは乗り物の正確な描写にくぎ付けになること間違いなしです。『せんろがつづく』でおなじみのコンビ。

● 『はこぶ』

(鎌田歩/作・絵 教育画劇 E/力)
昔々、収穫物のために作られた入れ物。どうやったらたくさん運べるの? 人力から動力へ、運搬量も道もどんどん進化し宇宙ステーションにまで物を届ける現在までが流れるように描かれています。くわしいイラストは歴史や時代を伝え、何度も読みたくなります!

● 『きかんしゃ1414』

(フリードリヒ=フェルト/作 鈴木武樹/訳 赤坂三好/絵 偕成社 943/フ)
機関車 1414 は年をとり故障寸前。休みをもらい旅に出ます。ドキドキハラハラする旅の途中、病気の妹のために星の花を探しているペーターに出会い、お話は一気にファンタジックに。運転士との友情も描かれ「優しい心が世の中を明るくする」という作者の気持ちが全編を通して感じられます。1968年から読み継がれている名作です。



お父さん 図書館職員の ひとり言①⑥

ダンディな男性図書館職員が、
日ごろの出来事や本を
ゆる〜く紹介します。



日に日に寒さが加わってきましたが、皆さんは、どのような秋を過ごされてますか? 私の場合、秋をとおり越し、すでに真冬です。ま〜お財布の話ですがね…

(泣) 子供たちの毎月の学級費・給食費、長女の部費などボディブローの様に効いてきますね。先日、長女の修学旅行の負担金を収めたので、お財布はとうとうノックアウト状態です。【ま〜、素敵な思い出をつくってください。】

最近、土日になると子供たちがよく台所に立ち、料理をしています。見事に巻かれた玉子焼きなどを見ると感心するとともに【ヤバイ、マズイ】気持ちになります。『父さんって料理できるん?』、【この質問、傷つくな〜】、『父さんだって、お米もとげるし、湯を沸かして3分待てば美味しいものを作れるよ』、『な〜んじゃ、インスタントか』、【完全に上からきている(悲・泣)】娘たちならまだしも、末っ子の息子に言われるなんて…『父さんだって、やればできるよ、ただ、やらん時が多いだけです』、『じゃあ〜今度作ってよ』、『ほ〜よ、何でもいいけー、作ってよ』【娘からの攻撃も始まりましたよ】…『ま〜、いつか気が向いたらね。以上』、いや〜非常に困りましたね〜、今回は本気で何とかせねばと思います。料理本もたくさん所蔵していますが、イロハのイから学ばなくては…この本で勉強しようと思います。

『男の料理教室』 資料番号 210421855

(出口数美/著 596/テ)

おおの
唸々濃読書会

日時およびテキスト

◆十一月二十一日(土) 十時〜

百田 尚樹 著

『永遠の0』

◆十二月十九日(土) 十時〜

篠田 節子 著

『長女たち』

場所 廿日市市大野市民センター

第一会議室

参加料 千円

参加のしかた等詳しい内容については、図書館までご連絡ください。



9月からはつかいち市民大野図書館に入った本の一部です。ご希望の本が貸出中の場合は予約できますので、カウンターまたは、はつかいち市民図書館のホームページからお申し込みください。本がご用意できましたらご連絡いたします。また、館内には週ごとに新刊リストを置いてありますので、併せてご利用ください。

	タイトル	著者名
総記	AIは「心」を持てるのか	ジョージ・ザルカダキス／著
哲学	「察しない男」と「説明しない女」のモメない会話術	五百田達成／著
歴史	江戸時代&古文書虎の巻	油井宏子／監修 柏書房編集部／編
	47都道府県庁所在都市 西日本編	八幡和郎／著
社会	経済のニュースが面白いほどスッキリわかる本	村中和之／著
	介護民俗学へようこそ！	六車由実／著
自然	生命の星の条件を探る	阿部豊／著
	ひとり、家で穏やかに死ぬ方法	川越厚／著
技術	食品加工が一番わかる	永井毅／監修
	日本産魚料理大全	西潟正人／著
産業	仁義なき宅配	横田増生／著
芸術	アンティークは語る	マーク・アラム／著 藤村奈緒美／訳
	新しい道徳	北野武／著
言語	にほんご歳時記	山口謠司／著
文学	シルバー川柳 5	全国有料老人ホーム協会／編 ポプラ社編集部／編
	霧(ウラル)	桜木紫乃／著
	十字の記憶	堂場瞬一／著
	闘う君の唄を	中山七里／著
	アイアン・レディ	二階堂黎人／著
	左近 上・下	火坂雅志／著
	十七八より	乗代雄介／著
	反人生	山崎ナオコーラ／著
	孤狼の血	柚月裕子／著
	断片的なものの社会学	岸政彦／著
	老妻だって介護はつらいよ	沖藤典子／著
実用	ブックカバーを作る 新装改定版	えかたけい／著
	弱火コントロールで絶対失敗しない料理	水島弘史／著
ヤング	カブキブ! 1~3	榎田ユウリ／著
	天と地の方程式 1	富安陽子／著 五十嵐大介／画
郷土	広島原爆写真集	反核・写真運動／監修 小松健一／編 新藤健一／編
	野球と広島	山本浩二／著
児童	幸せとまずしさの教室	石井光太／著
	水の国の迷路	香川元太郎／作・絵 武田正倫／監修
	おしりたんてい むらさきふじんのあんごうじけん	トロル／さく・え
絵本	ひとりではじめたアフリカボランティア	栗山さやか／著
	ジャッキーつきへいく	あだちなみ／絵 あいはらひろゆき／文
	フルーツめしあがれ	視覚デザイン研究所／さく 高原美和／え



★ お探しの本が見つからないときは、お気軽に図書館カウンターまでおたずねください。

- ◎ お探しの本がどこにあるかわからないときは、職員が本を探すお手伝いをいたします。
- ◎ 本が貸出中のときや、大野図書館にないときは、予約・リクエストカードに記入してカウンターにお持ちください。予約・リクエストの詳しいいきまりについては、カウンターでおたずねください。
- ◎ 本の予約は、はつかいち市民図書館ホームページからも申し込むことができます。インターネット予約は、最初に仮パスワード発行の手続きが必要ですので、ご希望の方はカウンターでお申し込みください。